

NPOと行政の 協働事業自己チェックリスト

[完了期]

このチェックリストは、
「市民と行政」が行う「協働事業」を
「事業に中心的に関わっていた人」が、
事業終了後、報告書作成段階の「完了期」に
「セルフチェック」を行うためのシートです。

所属組織名称：松阪市福祉事務所福祉課

記入者氏名：榊原 典子

記入年月日 平成17年2月10日

協働事業の名称：まつさかファミリーサポートセンター

■はじめに

以下のチェックリストの設問を読み、現在、行われていると思うものには はい、
 行われていないと思うものには いいえ、わからないものには ? を選び、回答を
 Oで囲み（データに直接入力の場合は、 内を灰色で塗りつぶす）、チェックしてください。

I. 事業の結果

1. 問題発生時の体制 はい いいえ ?

事業実施に関して問題が発生した場合に、速やかに両者でその問題について情報を共有し、話し合いを行ったり、解決できない場合は第三者に相談するなど、解決を図る体制をつくりましたか？

2. クレームの吸い上げとフィードバック はい いいえ ?

事業実施に関して受益者やドナーから苦情や意見が寄せられた場合に、速やかに両者でその情報を共有し、適切に対応すべく、改善に向けた話し合いを行い、活かすことができましたか？

3. 事業実施後の振り返り はい いいえ ?

事業終了後、当初の企画や実施内容、その結果についてお互いに話し合う機会を持ち、結果の把握と共有に努めるとともに、それぞれの提供した資源(人・物・予算・情報)、役割、負担などに見合う、事業規模、取り組み、結果であったか意見交換を行いましたか？

[結果]
事業継続中

4. 成果の達成 はい いいえ ?

事業を始める時に設定した成果目標は、達成できましたか？
 (*成果目標を、両者の間で話し合い、互いに達成を確認していることが前提となります)

[成果]
事業継続中

5. 事業の将来展望 はい いいえ ?

今回行った事業が、今後どのような形で続いていくことが望ましいか、残っている課題や改善策について話し合い、政策提言としてまとめるなど、行政関与の観点も含めて、社会的な責任を果たしていく体制などを両者で検討しましたか？

[課題解決のための改善提案]
 ファミリーサポートセンターが地域での子育て支援において重要であることを踏まえ、今後ますます充実させていかなければならないと思っているので、両者において検討していきたい。

上記「はい」と答えた合計	3
--------------	---

II. 事業の成果

1. 事業後の受益者とのコミュニケーションと満足度

はい	いいえ	~ ?
----	-----	-----

事業終了後、受益者から意見を聴く機会を持ち、この事業を通じて十分な満足を得られたかを確認し、今後の事業につながる良好な関係づくりを行っていますか？

<p>[受益者の満足の声]</p> <p>事業継続中 会員間の交流会に参加し、生の声を聞くことを大事にしている</p>

2. 事業後の資源提供者とのコミュニケーションと満足度

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業終了後、報告書や決算書などを作成し、納税者を含む資源提供者への積極的な情報の提供や公開を行い、また、意見を聴く機会を持ち、事業の結果に十分な満足を得られたかを確認し、今後の事業につながる良好な関係づくりを行っていますか？

<p>[資源提供者の満足の声]</p> <p>事業継続中</p>

3. 人々の自立性の向上

はい	いいえ	?
----	-----	---

この事業を通じて、地域の人々が、地域や社会の課題を理解し、自立した市民として、解決のために自発的に行動できるようになりましたか？

4. 新たなネットワーク

はい	いいえ	?
----	-----	---

この事業を通じて、市民や関係する団体、行政の新しいつながりが生まれ、地域に新たなネットワークが出来てきましたか？

5. 地域や社会に与えたインパクト

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業を実施することにより、期待された影響 [課題解決・社会変革] を、地域や社会にもたらすことができましたか？

<p>[事業が地域や社会に与えた影響]</p> <p>事業継続中 子育て支援のひとつとして広く地域に周知されてきていると思われる。</p>

上記「はい」と答えた合計	1
--------------	---

Ⅲ. 実施の結果

1. 協働意識の醸成

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業を通じて、事業関係者（行政・市民）の間で、協働への理解が深まり、効果を実感する人が増え、今後、積極的に協働という手法を事業に取り入れ、実施しようという機運が生まれてきましたか？

2. 協働の満足度

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業を通じて、事業に関わった人々（行政・市民）は、単独で事業を行った場合よりも、協働で進めたことでより大きな効果を得たと実感し、十分な満足を得ることができましたか？

3. 協働のコストの分担

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業を通じて、行政側、市民側、あるいは一部の関係者に、費用、労力・時間等、ある面での負担感が生じたとき、その負担に対する配慮ができていましたか？

[生じた負担感]

4. 今後の協働の改善

はい	いいえ	?
----	-----	---

この事業を通じて得た、協働事業を行う際に関係づくり、資源(人・物・予算・情報)調達、役割分担、連携等の課題を抽出し、両者で改善を考え、互いに今後の協働事業に活用していきますか？

[改善ポイント]

5. 結果の公開と説明責任

はい	いいえ	?
----	-----	---

この事業の結果や成果を自己評価や当事者以外の評価によって明らかにし、今後、同じような協働事業の企画・実施にあたっての改善のヒントにするために、地域や社会に対して積極的に情報を公開していきますか？

上記「はい」と答えた合計	1
--------------	---

NPOと行政の 協働事業自己チェックリスト

[完了期]

このチェックリストは、
「市民と行政」が行う「協働事業」を
「事業に中心的に関わっていた人」が、
事業終了後、報告書作成段階の「完了期」に
「セルフチェック」を行うためのシートです。

所属組織名称：松阪子どもNPOセンター

記入者氏名： 釜谷恵子

記入年月日 H17年2月13日

協働事業の名称： まつさかファミリーサポートセンター

■はじめに

以下のチェックリストの設問を読み、現在、行われていると思うものには はい、
 行われていないと思うものには いいえ、わからないものには ? を選び、回答を
 ○で囲み（データに直接入力の場合は、 内を灰色で塗りつぶす）、チェックしてください。

I. 事業の結果

1. 問題発生時の体制

	いいえ	?
--	-----	---

事業実施に関して問題が発生した場合に、速やかに両者でその問題について情報を共有し、話し合いを行ったり、解決できない場合は第三者に相談するなど、解決を図る体制をつくりましたか？

2. クレームの吸い上げとフィードバック

	いいえ	?
--	-----	---

事業実施に関して受益者やドナーから苦情や意見が寄せられた場合に、速やかに両者でその情報を共有し、適切に対応すべく、改善に向けた話し合いを行い、活かすことができましたか？

3. 事業実施後の振り返り

	いいえ	?
--	-----	---

事業終了後、当初の企画や実施内容、その結果についてお互いに話し合う機会を持ち、結果の把握と共有に努めるとともに、それぞれの提供した資源（人・物・予算・情報）、役割、負担などに見合う、事業規模、取り組み、結果であったか意見交換を行いましたか？

〔結果〕初年度・次年度とも、予想外のところに経費がかかり苦心しましたが、講師の謝金を低額でお願いしたり、事務用品の節約などで、何とか乗り切りました。

4. 成果の達成

	いいえ	?
--	-----	---

事業を始める時に設定した成果目標は、達成できましたか？

（＊成果目標を、両者の間で話し合い、互いに達成を確認していることが前提となります）

〔成果〕事業の目標はほぼ達成。会員数も毎月伸び、多様な依頼にも柔軟に対応できるよう話し合いながら支援してきました。

5. 事業の将来展望

はい		?
----	--	---

今回行った事業が、今後どのような形で続いていくことが望ましいか、残っている課題や改善策について話し合い、政策提言としてまとめるなど、行政関与の観点も含めて、社会的な責任を果たしていく体制などを両者で検討しましたか？

〔課題解決のための改善提案〕どのような形で続けていくことがいいのかは、まだ話しあっていません。（2月15日に話し合う予定です）

労働条件で不利益を被らないために、無理な残業をしたり子どもが病気でも仕事が休めなくて、援助を依頼される方があります。企業へは子育て家庭への支援を、病院へは病児保育を働きかけていきたいです

上記「はい」と答えた合計	4
--------------	---

II. 事業の成果

1. 事業後の受益者とのコミュニケーションと満足度

	いいえ	?
--	-----	---

事業終了後、受益者から意見を聴く機会を持ち、この事業を通じて十分な満足を得られたかを確認し、今後の事業につながる良好な関係づくりを行っていますか？

[受益者の満足の声]

- ・ 子どもとの関係もよく安心して預けられ助かっています。(依頼会員)
- ・ 登録しているだけで、いつでも預けられると思うと安心感があります。(依頼会員)
- ・ 子どもとのふれあいに喜びがあり、サポートすることで子どもの成長のお手伝いができることが嬉しです。(援助会員)

2. 事業後の資源提供者とのコミュニケーションと満足度

はい	いいえ	
----	-----	--

事業終了後、報告書や決算書などを作成し、納税者を含む資源提供者への積極的な情報の提供や公開を行い、また、意見を聴く機会を持ち、事業の結果に十分な満足を得られたかを確認し、今後の事業につながる良好な関係づくりを行っていますか？

[資源提供者の満足の声]

3. 人々の自立性の向上

はい	いいえ	
----	-----	--

この事業を通じて、地域の人々が、地域や社会の課題を理解し、自立した市民として、解決のために自発的に行動できるようになりましたか？

4. 新たなネットワーク

はい	いいえ	
----	-----	--

この事業を通じて、市民や関係する団体、行政の新しいつながりが生まれ、地域に新たなネットワークが出来てきましたか？

5. 地域や社会に与えたインパクト

	いいえ	?
--	-----	---

事業を実施することにより、期待された影響 [課題解決・社会変革] を、地域や社会にもたらすことができましたか？

[事業が地域や社会に与えた影響] 地域力の必要性が高まる中、子どもを預けたり預かったりする関係が、新しい地域づくりのきっかけになっていると感じています。その観点から、依頼会員と援助会員の組み合わせを、なるべく近所に住む方で考えています。

上記「はい」と答えた合計	2
--------------	---

Ⅲ. 実施の結果

1. 協働意識の醸成

	いいえ	?
--	-----	---

事業を通じて、事業関係者（行政・市民）の間で、協働への理解が深まり、効果を実感する人が増え、今後、積極的に協働という手法を事業に取り入れ、実施しようという機運が生まれてきましたか？

2. 協働の満足度

	いいえ	?
--	-----	---

事業を通じて、事業に関わった人々（行政・市民）は、単独で事業を行った場合よりも、協働で進めたことでより大きな効果を得たと実感し、十分な満足を得ることができましたか？

3. 協働のコストの分担

はい		?
----	--	---

事業を通じて、行政側、市民側、あるいは一部の関係者に、費用、労力・時間等、ある面での負担感が生じたとき、その負担に対する配慮ができていましたか？

「生じた負担感」 予算内の人件費では、会員への十分な対応ができないため、時間外のところもボランティアで働いてもらっています。（子育て支援をしている団体として）

4. 今後の協働の改善

	いいえ	?
--	-----	---

この事業を通じて得た、協働事業を行う際の関係づくり、資源（人・物・予算・情報）調達、役割分担、連携等の課題を抽出し、両者で改善を考え、互いに今後の協働事業に活用していきますか？

「改善ポイント」 資源の調達と役割分担の明確化は必要です。
話し合いの場を多くもつことでいい協働をしていきたいと考えています。

5. 結果の公開と説明責任

	いいえ	?
--	-----	---

この事業の結果や成果を自己評価や当事者以外の評価によって明らかにし、今後、同じような協働事業の企画・実施にあたっての改善のヒントにするために、地域や社会に対して積極的に情報を公開していきますか？

上記「はい」と答えた合計	4
--------------	---